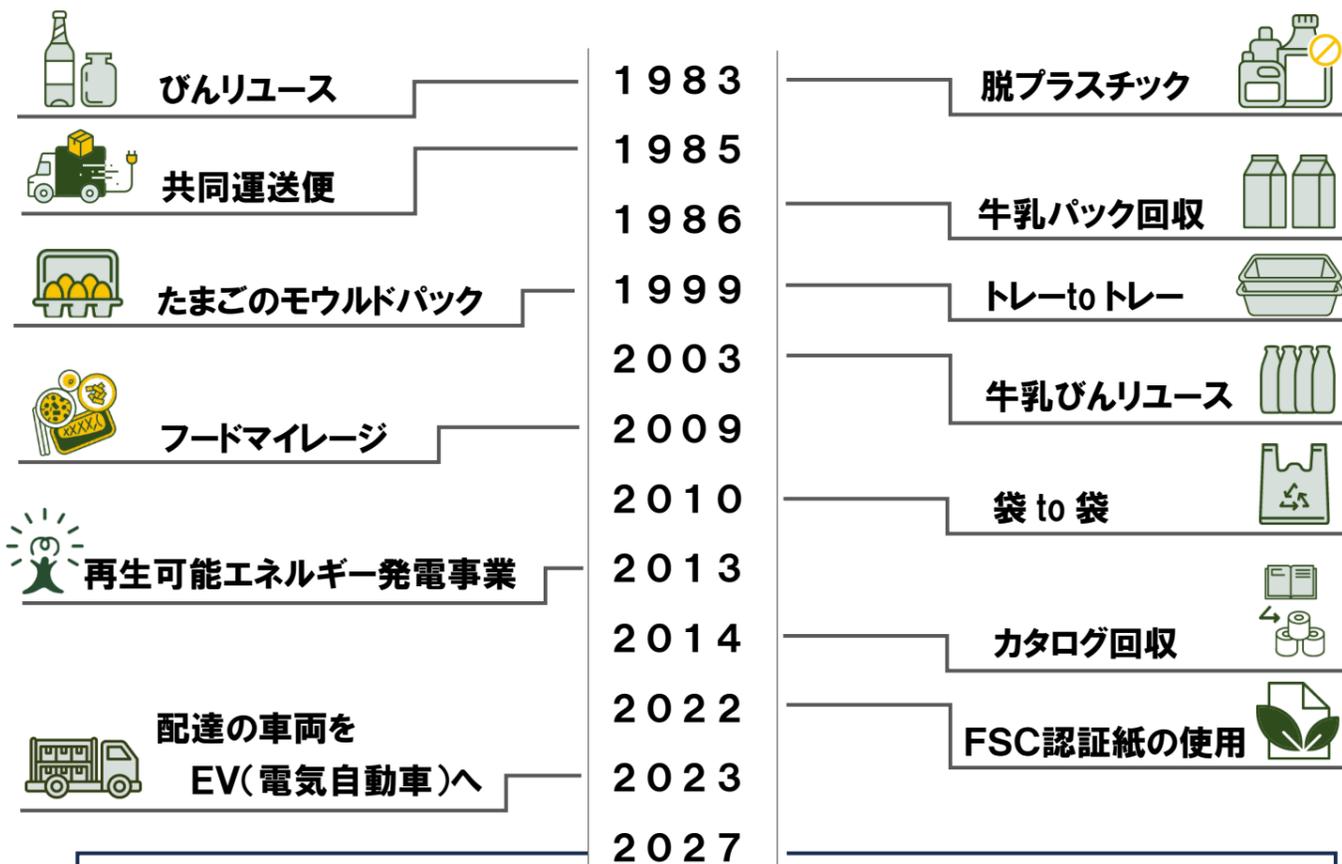


未来への責任、過去からの挑戦



2027年までに事業で排出する温室効果ガスをゼロへ

これまで、グリーンコープが様々な取り組みできたことは、いつも「みどりの地球をみどりのままで」を中心に据えています。そして組合員の願いでもあります。

1983年、脱プラスチック推進をしようと、醤油などの調味料や飲料もびん容器を使用し、さらにそのびん容器の回収、リユースを始めました。そこからトレー、たまごのモウルドパックの回収、紙パックだった牛乳をびん牛乳へ変更し、牛乳びんのリユース、仕分け袋、カタログの回収など、4Rの取り組みを進めてきました。

1985年からは、取引先からグリーンコープの物流センターに納品する商品を、共同運送便で集荷をはじめ、ガソリンなどエネルギーの使用を減らすことに取り組んでいます。

2013年には、東京電力福島第一原発の事故を受け、太陽光・水力・地熱などの自然エネルギーを利用した電気を使う、グリーンコープでんきをスタートさせました。

たべものに関しても、できるだけ近場のもの、国産のものを目指し、国産の商品を供給してきました。

2022年には持続可能な森林活用と保全を目的に、FSC認証を受けた森林の木材で作られた紙をカタログの一部と機関紙「共生の時代」で使用開始しました。

2023年から、配送・業務車両のEV(電気自動車)化を進めています。充電はCO2を排出しないグリーンコープでんきで充電しています。

グリーンコープは「みどりの地球をみどりのままで」をかげ、未来を担う子どもたちに引き継ぐために、環境を守りたいという組合員の願いが継続され今があります。「2027カーボンニュートラル」はその組合員活動の集大成とも呼べる取り組みです。

その集大成を実現させるための財源は、事業内で生み出すのはもちろんのこと、納入メーカーの協力もお願いしています。私たち組合員としての協力は、賛同いただける組合員から、商品代金の1%の拠出(上限500円/月)という形で、お願いすることになりました。7月の商品代から拠出はスタートします。

3月1週目に、意思確認のお便りをみなさんにお届けします。3月末までにみなさんのご返答をいただけますようお願いいたします。グリーンコープアプリからの回答も可能です。

このカーボンニュートラルの取り組みは、全国オールグリーンコープで一斉に7月からスタートします。ひとりひとりの力は小さくても43万人の組合員が集れば、大きな力になります。

ぜひ、この取り組みについてご理解、ご協力をお願いいたします。

【理事長 川口 香代子】

グリーンコープのカーボンニュートラル

グリーンコープでは2027年までに事業で排出する温室効果ガスを実質ゼロにする『2027カーボンニュートラル』に取り組めます。一人ではどうすることもできないと思える地球温暖化による気候危機の問題も、一人ひとりの環境により選択やアクションを足し合わせることで、未来は変えられます。多くの方がグリーンコープを利用し、一人ひとりが無理なくできることを実現し、その輪を広げていくことで『2027カーボンニュートラル』の実現を目指します。



みんなで考えよう！わたしたちの未来
みどりの地球をみどりのままで

未来への責任、過去からの挑戦

第5号

- 未来への責任、過去からの挑戦
- 笑顔つながる こだわりマルシェ in 都城
- 都城支部 温室効果ガス80%削減!

ホームページ

チェックしてね!

Instagram

@GREENCOOP_MIYAZAKI

フォローしてね!



100世帯限定!
事前予約プレゼント

申込はこちら!

笑顔つながる こだわりマルシェ in 都城

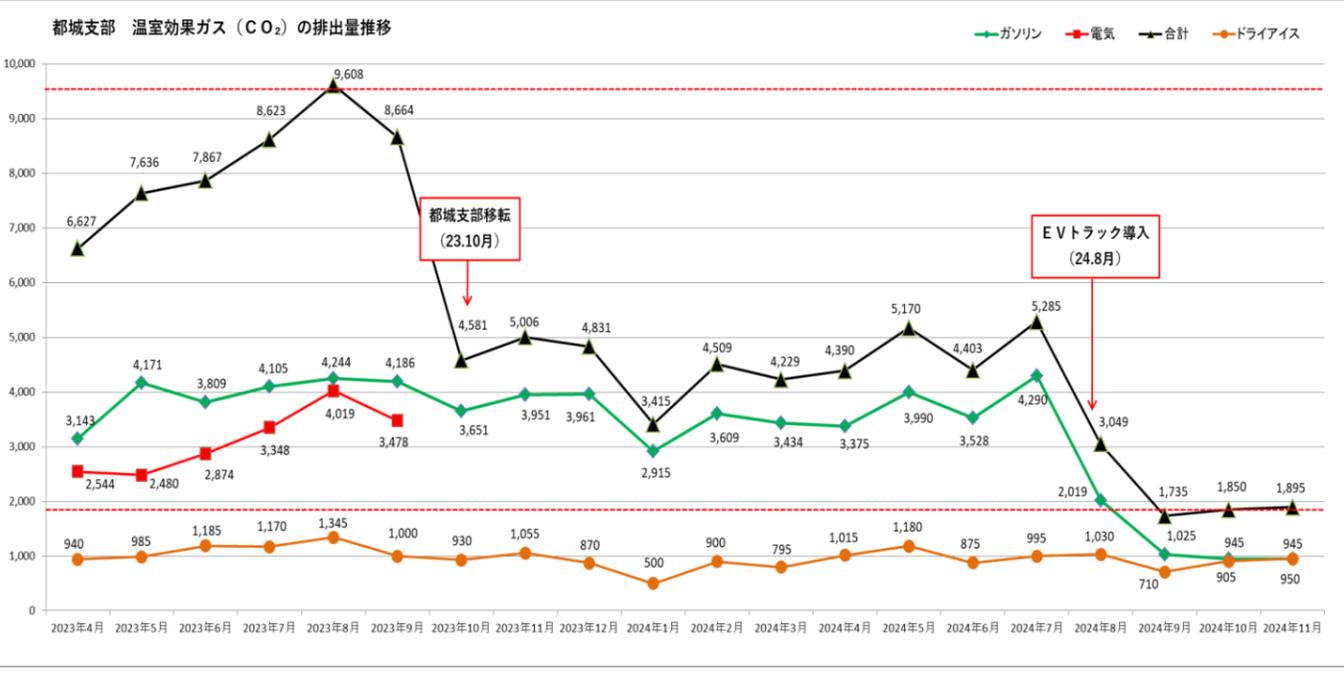
日時：2025年3月15日（土）10時～14時
 場所：グリーンコープ生協みやざき 都城支部



昨年新設オープンしたグリーンコープ都城支部を会場に、こだわりのメーカーや生産者が30ブース出店。組合員の方や組合員以外の方も、どなたでも参加できるマルシェです。

グリーンコープのカーボンニュートラルへの取り組みを「見て」「聞いて」「体験」いただけるよう、EVトラックの試乗体験やクイズラリーなどを企画しています。そのほか、メーカーこだわり商品の試食やお祭り価格での販売をはじめ、ハズレなしのお楽しみ抽選会など、家族で楽しめるブースも多数。さらに、事前申し込み特典（限定100世帯）や、当日グリーンコープへご加入いただいた方への特典（2千円相当の商品をプレゼント）もあります。皆さまのお越しをお待ちしています。ぜひマイバッグをお持ちください。

【都城支部委員長 伊藤 智子】



都城支部 温室効果ガス (CO₂) 80%削減!

2023年上半期4～9月のCO₂排出量は、平均して8171kg/月となっていました。10月に志比田町に移転し、「グリーンコープでんき」に切替えたことでカーボンフリー (CO₂を排出しない電気) となり、CO₂排出量は大幅に削減しました。その後、12月から翌年2月にかけて、仲間づくりで使用する軽車両2台をEVへ切り替え、2024年8月、都城支部の配送トラック6台を全てEVトラックへ切り替えました。

EVトラック導入後、ガソリン使用量は1/4程度になり、10月のガソリンによるCO₂排出量は945kgとなっており、7月の4290kgから78%もの削減につながっています。ドライアイスも含めた都城支部のCO₂排出量は、ピーク時の9608kgから1895kgとなり、約80%も削減することができています。今後、ドライアイス削減に向けて保冷箱・保冷剤を新たに導入する計画です。

また、倉庫の屋根にPPA方式でグリーンコープでんきの太陽光パネルを設置して、発電した電気を事務所・倉庫の電気やEVトラックの充電に活用しています。

グリーンコープでんきは原発フリーの電気として発電事業、売電事業を行ってまいりましたが、これからカーボンフリー (CO₂を排出しない電気) としても推進していきます。

都城支部はカーボンニュートラルを実現する事務所として、着実に歩を進めています。

キープ&ショップ都城は、冷凍・冷蔵ショーケースもあり、品揃えも充実しています。ぜひ、都城支部に遊びに来てください!

【常務理事 古賀 有樹】

つぎやき

先日、ママ友から「ぬか温湿布」をもらいました。寝る前にレンジで1分温めて肌着の上からお腹に乗せて寝ています。ほんのりぬかの香りがして、懐かしいような癒しを与えてくれる感じで、いつもよりぐっすり眠れる気がします。首にあてると、風邪予防になるそうですよ! 血行が良くなるので頭痛や肩こりの緩和にもなるそうなので私も今夜、首にあてて寝よ〜っと♪

【宮崎支部委員長 水本 多希】



2025年 地域組合員総会のご案内

グリーンコープ生協みやざきでは、組合員自らが参加し決定していくことができるように、年に1回地域組合員総会を各地区にて開催しています。

宮崎東地区	3月 5日 (水)	宮崎支部
宮崎中央地区	3月 5日 (水)	宮崎支部
宮崎南地区	3月11日 (火)	内海やっこ荘
宮崎北地区	2月20日 (木)	新富町総合交流センターきらり
都城東地区	2月19日 (水)	都城支部
都城西地区	2月19日 (水)	未来創造ステーション
小林地区	3月 4日 (火)	小林市文化会館